[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	総合行政情報	システム(基幹	幹系情報システム	ム)更新事業	事業期間	_	年度 ~ —	・年度						
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	DX推進課情報推進係
目的 (何のために実施する のか)	バーやクライアン	トパソコン等の	において、総合行政 ハードウェアや、7 効率低下の防止や、	アプリケーション	/等のソフトウェブ	ては保守期限が	定まっており、機	手段 (どのような方法で 実現するのか)	機器等の定期的な	な更新				
対象 (誰・何を対象として いるのか)	基幹系システム	(総合行政システ.	۲)					成果 (どのような効果が 得られるのか)	システムの安定和	稼動を確保し、業	務効率の向上を図	1 5.		
事業開始時の状況 緯	・これまでの経	昭和63年度に総合	合行政システム(東	芝)をオフィス	.コンピュータとし	て導入し、以降	絳同14年度(オフ :	コン→パソコン)、	同22年度(東芝-	→日立)、同29 年。	度にそれぞれシス	テムの更新を行っ	ている。	

[DO]

実績

(単位:円)

				第1次実施	3 カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4力年記	十画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計画額				0	13, 573, 000	62, 528, 000		76, 101, 000					0	76, 101, 000
		予算計上額				0	13, 598, 000	158, 267, 000		171, 865, 000					0	171, 865, 000
		実績額				0	13, 598, 000			13, 598, 000					0	13, 598, 000
	道 費	計画額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
40	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
入		実績額				0				0					0	0
	その他	計画額				0	493, 000	493, 000		986, 000					0	986, 000
さ		予算計上額				0	493, 000	493, 000		986, 000					0	986, 000
n		実績額				0	492, 649			492, 649					0	492, 649
16	一般財源	計画額	18, 902, 000	8, 930, 000	19, 258, 000	47, 090, 000	13, 221, 000	34, 030, 000		47, 251, 000					0	94, 341, 000
<i>t</i> =		予算計上額	18, 902, 000	0	50, 000	18, 952, 000	13, 196, 000	13, 170, 000		26, 366, 000					0	45, 318, 000
		実 績 額	18, 901, 417	0	37, 354	18, 938, 771	13, 195, 787			13, 195, 787					0	32, 134, 558
事	事業費合計	計画額	18, 902, 000	8, 930, 000	19, 258, 000	47, 090, 000	27, 287, 000	97, 051, 000	0	124, 338, 000	0	0	0	(0	171, 428, 000
業		予算計上額	18, 902, 000	0	50, 000	18, 952, 000	27, 287, 000	171, 930, 000	0	199, 217, 000	0	0	0	(0	218, 169, 000
		実 績 額	18, 901, 417	0	37, 354	18, 938, 771	27, 286, 436	0	0	27, 286, 436	0	0	0	(0	46, 225, 207
費の推	事業費予算の 内容		防災資機材譲渡 代金償還5年目 18,902千円		防災資機材譲渡 代金償還 1 年目 50千円		27, 207 [1]	防災資機材譲渡代 金償還3年目 27,245千円 情報システム標準 化・共通化業務委 144,685千円								
移	前年度予算と の比較 (増減理由)			ため	合行政情報システム機器)譲渡利用の開始による											
	実績との比較 (増減理由)		同額	同額	利率の減による		同額									

指標の推移・評価

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:	指標の求め方:※活動指標の設定が困難であるため、設定しない
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:	指標の求め方: ※成果指標の設定が困難であるため、設定しない

						第1次軍施	3カ年計画			第2次軍施	3 カ年計画				3次実施4カ年	十画		767 → ₩C
				-	第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
					(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
		活動指標:		計画値														
	指	(単位/		実績値														
	標	成果指標:		計画値			 											
		(単位/		実績値														
		事業の達成 (活動指標		:評価)				達成されている										
		事業の成身 (成果指標		に評価)				変わらない										
		事業の効果		 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、				変わらない										
		総合評価						良好である										
事務事業評価	評価内容	理 σ.	総合評価(理由ま値) 日まで 日本ま位 日本まで 日本まで 日本まで 日本まで 日本まで 日本まで 日本まで 日本まで	のはに関いています。	テンス (総合) いい (総合) いい (にない) いっといった (ない) いっといった (ない) いっと (ない	の償還は完了し	ハード・ソファド・機器更にがいまる。安定をはいる。	平成29年度の総合行政システム	テムス (総ム) いまり 一定 (総ム・機会) いまび 実程 (保定度) 上で (大変) 大変 できまる (大変) 大変 できまる (大変) 大変 できまる (大変) 大変 といった (大変) 大変 といった (大変) 大変 といった (大変) かいまい (大変) かいまな) かいまい (大変) かいま		自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方向	 向性					現状のまま継続										
	方向性改善、	生の判断理 改革の内 R8、R10)	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	5	やソフトウェア <i>0</i> 和7年度中に基幹 が決定しており、	D更新・保守を継 系20業務等を国 <i>の</i>	していくためには 続して実施する必 がガバメントクラ 成が大きく変わる 必要がある。	要があるが、令 フドヘ上げること	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	イントラネッ	ト関連機器更	新事業		事業期間	_	年度 ~ —	年度						<u>' </u>
事業性質区分	新規・継続	継続	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-4-1	他に関連する 基本事業						所管課係	DX推進課情報推進係
(何のために実施する	庁内や庁外公共が クフロー等)、則 について安定した	オ務会計システム.	、共有フォルダ、	グループウェア データベース(ī	- (電子メール・スク 市議会会議録等)な	「ジュール管理 などの機能やパ	・施設予約・ワー ソコン、プリンタ	手段 (どのような方法で 実現するのか)	機器等の定期的な	は更新				
対象 (誰・何を対象として いるのか)	イントラネット	関連機器(パソコ	ン、プリンタ等)					成果 (どのような効果が 得られるのか)	安定したパソコン	ンの稼働および業	務の効率化を図る			
事業開始時の状況緯	・これまでの経	平成14年度に地域	或イントラネット	基盤施設整備事 第	美で庁舎と市内公共	施設を光ファィ	イバで結び、グルー	プウェア等を導入	した。以降、定期	月的にネットワー	ク機器やパソコン	等の更新を行って	いる。	

[DO]

実績

第 7 期 総合計画

				第1次実施	53カ年計画			第2次実施	3カ年計画			第	3次実施4カ年計	画		第 7 期
			第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
			(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国 費	計 画 額				0	13, 573, 000			13, 573, 000					0	13, 573, 000
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	道費	計 画 額				0				0					0	0
		予算計上額				0				0					0	0
		実績額				0				0					0	0
	地 方 債	計画額				0				0					0	0
投		予算計上額				0				0					0	0
12		実績額				0				0					0	0
入	その他	計画額				0				0					0	0
4		予算計上額				0				0					0	0
\$		実績額				0				0					0	0
れ	一般財源	計画額			17, 094, 000	17, 094, 000	36, 148, 000			36, 148, 000			18, 979, 000	49, 721, 000	68, 700, 000	121, 942, 000
		予算計上額			18, 979, 000	18, 979, 000	49, 721, 000			49, 721, 000					0	68, 700, 000
<i>t</i> =		実績額		0	18, 978, 190	18, 978, 190	46, 710, 565			46, 710, 565					0	65, 688, 755
事	事業費合計	計画額	0	0	17, 094, 000	17, 094, 000	49, 721, 000	0	0	49, 721, 000	0	0	18, 979, 000	49, 721, 000	68, 700, 000	135, 515, 000
		予算計上額	0	0	18, 979, 000	18, 979, 000	49, 721, 000	0	0	49, 721, 000	0	0	0	0	0	68, 700, 000
業		実績額	0	0	18, 978, 190	18, 978, 190		0	0	46, 710, 565	0	0	0	0	0	65, 688, 755
費の推	事業費予算の 内容				イントラネット 関連機器(サー バ)の更新 委託料 18,979 千円		委託料(廃棄処 理等)1,458千 円 備品購入費 48,263千円									
	前年度予算と の比較 (増減理由)				情報系サーバ保 守期限到来に伴 い、更新が必要 となったことに よる		情報系パソコン をノートパソコ ンに更新する等 による									
	実績との比較 (増減理由)				同額		入札による減									

指標の推移・評価

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方: ※活動指標の設定が困難であるため、設定しない
成果指標 1 (「成果」をもとに設定)	指標名: —	指標の求め方:※成果指標の設定が困難であるため、設定しない

					第 1 次宝성	· 3 力年計画		I		も3カ年計画		T .	4	第3次実施4力年	計画		l
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	第 7 期総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	会 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	会計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	会計	合計
		活動指標															
	指	(単位/	人物														
	標	成果指標	·	}													
		(単位/	, X19K II	1													
			票をもとに評価)			達成されている										
			票をもとに評価)			変わらない										
		事業の効 (事業費)	率性 に対する成果)				変わらない										
		総合評価	i				良好である										
事務事業評価	評価内容		総合評価の判 理由または指 の実績値に関 る自己分析	=	自己分析:	のハード・ソフ トウェアの機器 更新・保守により、安定稼動が 一定程度担保さ		を全台機器更新 したことにより、安定稼働が 一定程度担保さ	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
		今後の方	向性				現状のまま継続										
	方向情改善、	生の判断3 、改革のP 、R8、R10	里由	キュリティ機器	(ファイアウォー ア(ウィルス対策 要がある。また、	していくためには ル、スイッチ等) ソフト、SKYSEA等 いずれは情報系シ	▲ 、サーバやセ 、セキュリティ シの更新を継続	R8 :				R10:					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 × 過疎計画掲載 〇

事 業 名	窓口キャッシ	ュレス化事業	ŧ		事業期間	令和	3年度 ~ -	- 年度						
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外	建設外	第7期総合計画 の位置付け	6-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課戸籍年金係
目的 (何のために実施するのか)	窓口での手数料等ビスの向上を図る		て、キャッシュレ	ス決済の利用を	- 可能とすることで、	市民の利便性	を高め、市民サー	手段 (どのような方法で 実現するのか)	キャッシュレス》	決済が可能となる	機器を購入			
対象 (誰・何を対象として いるのか)	キャッシュレスジ	R済を利用する市	民					成果 (どのような効果が 得られるのか)	市民の利便性が高	高まり、市民サー	ビスの向上が図ら	っれる。		
事業開始時の状況緯	!・これまでの経	現在、キャッシュ にキャッシュレス	ュレス決済の利用 に ス決済の利用を可能	きが増加しており 能とすることで、	リ、国においても将 市民の利便性を高	来的にはキャッ め、市民サーヒ	ッシュレス決済の和 ごスの向上を図るこ	川用者を80%まで こととしたい。	引き上げることを	を目標としており	、今後ますます増	加することが見ど	込まれる。窓口で <i>0</i>	D手数料等の支払いにおいて、新た

[DO]

実績

(単位:円)

					第1次実施	3カ年計画			第2次実施	3 カ年計画			第	3次実施4カ年計	·画		第 7 期
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実 績 額				0				0					0	0
	道	費	計画額				0				0					0	0
			予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0				0					0	0
	地グ	ち 債	計画額				0				0					0	0
投		_	予算計上額				0				0					0	0
2	_		実績額				0				0					0	0
	そ 0	り他	計画額				0				0					0	0
さ		_	予算計上額				0				0					0	0
			実績額				0	50.000			0					0	0
れ	一般	財源	計画額	108, 000	108, 000		324, 000	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000	109, 000	56, 000	56, 000	56, 000	277, 000	769, 000
<i>t</i> =		_	予算計上額	108, 000	59, 000		223, 000	56, 000	57, 000		113, 000					0	336, 000
,-		b A 51	実績額	9, 521	47, 991		102, 975	47, 293			47, 293		=			0	150, 268
事	事 業 第	き合計_	計画額	108, 000	108, 000	108, 000	324, 000	56, 000	56, 000	56, 000	168, 000	109, 000	56, 000	56, 000	56, 000	277, 000	769, 000
業		-	予算計上額	108, 000	59, 000	56, 000	223, 000	56, 000 47, 293	57, 000	0	113, 000	0	0	0	0	0	336, 000 150, 268
*			実績額	9,521 手数料 26千円	47,991	45, 463	102, 975		5 手数料 28千円	0	47, 293	0	0	Ü	0	0	150, 268
費				通信運搬費 82	通信運搬費 30	通信運搬費 30		通信運搬費 29	通信運搬費 29								
		予算の			千円	千円		千円	千円								
の	内	容															
推																	
					通信運搬費の差			同額	手数料の差異に								
移	前年度	予算と			異による	よる			よる								
	の比																
	(増減	理由)															
				年度途中からの実 施となったことに	キャッシュレス 決済の件数が見	キャッシュレス 決済の件数が見		キャッシュレス 決済の件数が見									
	実績と	の比較		より、手数料及び	込額を下回った	込額を下回った		込額を下回った									
	(増減	理田)		一施ということを をなる手機という では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	ことによる手数	ことによる手数		ことによる手数									
					朴の淑	朴の淑		料の減									

指	票の推	移・評価															
活動	動指標	1 (「手段」をもる	に設定)						済による証明書発								
成县	果指標	1 (「成果」をもる	に設定)	指標名:キャッ	シュレス決済利用	率	指標の求め方:全	全体の手数料収入	のうち、キャッシ	ュレス決済を利用	用した割合						
						3 カ年計画			第2次実施					3次実施4カ年計			第 7 期
				第 1 年次 (3年度)	第2年次(4年度)	第3年次(5年度)	実施3カ年 合 計	第4年次(6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次(9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年合計	総合計画合計
	1	活動指標 1	計画値	2, 256		2, 256		2, 482	2, 482	2, 482	_	2, 707	2, 707		2, 707		
	指	(単位/件)	実績値	751		1, 175		1, 439									
	標	成果指標 1 (単位/%)	計画値実績値	10		10 5. 9		11 7. 3	11	11	1	12	12	12	12		
		事業の達成度		d	7.4	5. 9	ほぼ達成されている	7. 0									
		事業の成果					少し上がっている										
		(成果指標をも	とに評価)				-										_
		(事業費に対す	る成果)				変わらない									<u> </u>	_
		総合評価		自己分析:	自己分析:	自己分析:	良好である 判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
事務事業評価	評価内容	理由の実	亚価の判断	R3施め回た紙ペをどにと窓き9と、るも及びつった知ら、本でこ、れ今引図かか可等のかです。といるも及びつった知ら、であるながでいたができない。ではないなくこれができない。 ないがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい かいがい	をどにと窓声い国レも増まのよい、でを、水へ会きの、少な人の大い、のを、かの、のない、のを、かの、のない、ので、のない、ので、のない、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、ので、	結のぺをどにり等のでを国レもより、かんでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大いでは、大い	かし画も段にシ用応きのた利りスれて、	をどにり年イい民上等知くと徐仁にり年イい民上等知くとなかます。 できる かんきつ かんり ひり かんきつ かんり かんきつ かんり かんきい かんきい かんきい かんきい かんきい かんきい かんきい かんしゃ はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん はんしん は									
		今後の方向性					現状のまま継続										
	改善	性の判断理由 、改革の内容 、R8、R10)		の、決済手段が ニーズに応える。 り市民への周知:	・ いら事業を開始し、 増えたことにより ことができている が浸透し、サービ 現状のまま継続」	、キャッシュレス 。今後も事業を継 ス利用者が徐々に	、決済利用者の !続することによ	R8 :				R10 :					

[PLAN]

事務事業の目的と成果

総合戦略掲載 〇 過疎計画掲載 〇

事 業 名	住民票等コン	ビニ交付サー	-ビス事業		事業期間	令和	4年度 ~	— 年度						<u> </u>
事業性質区分	新規・継続	新規(予算)	建設・建設外		第7期総合計画 の位置付け	6-4-2	他に関連する 基本事業						所管課係	市民生活課戸籍年金係
(何のために実施する			民票の写し・印鑑者 トアで取得すること ニエンスストアで記					手段 (どのような方法で 実現するのか)	証明発行サーバる	を構築し、既存住	基システムとの情	『報連携を行うため	りのシステム改修 ^会	等を行う。
対象 (誰・何を対象として いるのか)	マイナンバーカー	- ドを取得してい	る者					成果 (どのような効果が 得られるのか)	高まる。	土日祝日、砂川市 和や待ち時間の短		ンスストアで証明	月書を取得するこ。	とができるため、住民の利便性が
事業開始時の状況 緯	兄・これまでの経	新型コロナウイル	レス感染拡大防止 <i>の</i>)観点から窓口 <i>の</i>)混雑緩和対策、住	民の利便性を高	高めるため窓口閉	 庁時や砂川市外でも	マイナンバーカ-	- ドを利用し、近	くのコンビニエン	スストアで証明書	₹を取得すること <i>≴</i>	「可能となる。

[DO]

実績

(単位:円)

					第1次実施	3 カ年計画		第2次実施3カ年計画					第 7 期				
				第1年次	第2年次	第3年次	実施3カ年	第4年次	第5年次	第6年次	実施3カ年	第7年次	第8年次	第9年次	第10年次	実施4カ年	総合計画
				(3年度)	(4年度)	(5年度)	合 計	(6年度)	(7年度)	(8年度)	合 計	(9年度)	(10年度)	(11年度)	(12年度)	合 計	合 計
	国	費	計画額				0)			0					0	0
			予算計上額		13, 015, 000		13, 015, 000)			0					0	13, 015, 000
			実績額		12, 692, 917		12, 692, 917	'			0					0	12, 692, 917
	道	費	計画額				0)			0					0	0
			予算計上額				0)			0					0	0
			実績額				0)			0					0	0
	地 方	債	計画額				0)			0					0	0
投			予算計上額				0)			0					0	0
技			実績額				0)			0					0	0
入	その	他	計画額				0)			0					0	0
			予算計上額				0)			0					0	0
2			実績額				0)			0					0	0
れ	一 般 財	打源	計画額		31, 079, 000	7, 234, 000	38, 313, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	22, 611, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	30, 148, 000	91, 072, 000
,,0			予算計上額		13, 195, 000	7, 561, 000	20, 756, 000	7, 537, 000	7, 587, 000		15, 124, 000					0	35, 880, 000
<i>t</i> =			実績額		12, 915, 449	7, 381, 721	20, 297, 170	7, 428, 638			7, 428, 638					0	27, 725, 808
_	事業費台	合計	計画額	0	31, 079, 000	7, 234, 000	38, 313, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	22, 611, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	7, 537, 000	30, 148, 000	91, 072, 000
事			予算計上額	0	26, 210, 000	7, 561, 000	33, 771, 000	7, 537, 000	7, 587, 000	0	15, 124, 000	0	0	0	0	0	48, 895, 000
業			実績額	0	25, 608, 366	7, 381, 721	32, 990, 087	7, 428, 638	0	0	7, 428, 638	0	0	0	0	0	40, 418, 725
					普通旅費 179千円 通信運搬費 128千	手数料 349千		旅費 80千円 手数料 245千円	旅費 94千円								
費	事業費予算	笛の			円	円 委託料 4,993		委託料 4,993千円	手数料 281千円 委託料 4,993千								
o o	争未复了! 内容				手数料 31千円 委託料 25,317千円	安配科 4,993 千円		負担金 2,219千円	円								
0)	.,,				負担金 555千円	貝担金 2,219			負担金 2,219千 円								
推						千円											
TA						普通旅費、通信 運搬費、手数		旅費、手数料、 委託料の差異に	旅費、手数料の								
移	前年度予算	算と				料、委託料、負		よる	左共による								
	の比較 (増減理E					担金の差異によ											
	(1/1/2/11	ш/				6											
					東京での確認試	発行件数が貫込		東京での工程試験が									
					験の回数減によ	額を下回ったこ		発生しなかったこと									
	実績との				る普通旅費の			による普通旅費の 減、発行件数が見込									
	(増減理E	由)			減、ベンダ作業 による委託料の	の減		額を下回ったことに よる手数料の減									
					減			よる士奴科の淑									
								II .									

指標の推移・評価

活動指標1(「手段」をもとに設定)	指標名:キヨスク端末設置店舗数(市内)	指標の求め方:キヨスク端末設置店舗数(市内)
成果指標1(「成果」をもとに設定)	指標名:発行した証明書の件数	指標の求め方:発行した証明書の件数
成果指標2(「成果」をもとに設定)	指標名:マイナンバーカード交付枚数率 (R5~マイナンバーカード保有枚数率)	指標の求め方:マイナンバーカード交付枚数率 (R5~マイナンバーカード保有枚数率)

			第 1 次実施 3 力年計画				第2次実施3カ年計画				第3次実施4力年計画 第7					
			第1年次(3年度)	第2年次(4年度)	第3年次 (5年度)	実施3カ年 合 計	第 4 年次 (6年度)	第5年次 (7年度)	第6年次 (8年度)	実施3カ年 合 計	第7年次 (9年度)	第8年次 (10年度)	第9年次 (11年度)	第10年次 (12年度)	実施4カ年 合 計	第 7 期 総合計画 合 計
		活動指標 1 計画値	(3年度)	12		11	12	12	(6年度)	1	(9年度)	12		12年度)	1 11	
		(単位/箇所) 実績値		11			12									
	指標	成果指標 1 計画値 (単位/件) 実績値		264 328	 		1, 483 1, 841	2, 121	2, 121		2, 121	2, 121	2, 121	2, 121		
		成果指標 2 計画値		50.0	, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		70. 0	100. 0	100.0		100.0	100.0	100.0	100.0		
		(単位/%) 実績値		72. 6	74. 2		79. 1									
		事業の達成度 (活動指標をもとに評価)				達成されている										
		事業の成果 (成果指標をもとに評価)				上がっている										
		事業の効率性 (事業費に対する成果)				少し上がっている										
		総合評価				良好である										
事務事業評価	評価内容	総合評価の判断 理由または指標 の実績値に関す る自己分析		応施広ムロ図りさナ交なサもとキーで、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	知に認マカ率い用もる末(値値はてをよりさ)・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	かあ紙ペ等た民れン付増サもと住たの、一でこち、バ枚加一増推民のにま一数に対した利たれ便にがありたイド連、川本の伴又しさ利たれ便性のので、一でこち、バ枚加一増推民のはイド連、川もの伴又しさ利たれ便性がある。	に認マカ率い用もる末(てのりよ知イーの、者の。設而に新計門では、別のでは、別のでは、別のでは、規画では、規画では、規画では、規画では、規画では、規画では、規画では、対しては、数・利たれ端がに達を、対しては、数・利たれ端がによび、対しては、数・利とれば、いこよが、対しては、数・利とれば、いことが、対しては、数・利とれば、いことが、対しては、数・利とれば、いことが、対しては、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とれば、いっとは、数・利とは、対しては、数・利とは、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対しては、対して	自己分析:	自己分析:	判断理由:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	自己分析:	判断理由:	
	改善、	今後の方向性 生の判断理由 改革の内容 R8、R10)	窓口等で周知を開バーカード交付を たものと推測され の向上、窓口混れ	らの実施であった 図ったことにより 文数の急速な増加 れる。開始2年目の 様子ち時 売」と判断した。 直26%)	市民等に認知され に伴い、サービス)事業であり、今後 間の短縮が期待さ	、またマイナン 利用者も増加し 後も住民の利便性 れることから	R8 :				R10 :					